

平成26年度事業実績について

1 概要

平成27年2月12日閣議決定された「平成27年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」の平成26年度の経済動向によれば、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」及び「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進により、景気は緩やかに回復しているとされています。日経平均株価は上昇し、完全失業率は低い数値で推移していますが、平成26年度実質GDPの伸び率は前年度の伸び率には及ばず、さらに、地域格差は広がっていることが報道されるなど、国民全体に景気回復の効果がいまだ行き渡っていない状況にあると考えられます。このような中、当センターでは、平成26年度の重点事業計画として掲げたとおり、積極的に就業開拓活動及び普及啓発活動に取り組みましたが、配分金見積基準最低単価及び事務費を改定した影響等もあり、前年度実績を上回ることはできませんでした。

平成26年度の請負・委任の受託金額は前年度比3.1パーセント減の14億9,304万8千円、京都府シルバー人材センター連合会の実施事業所として実施している派遣の受託金額は前年度比約2.6倍増の6,787万9千円で、合計で前年度比0.4パーセント減の15億6,092万7千円となりました。

また、平成26年度の請負・委任の受託件数は前年度比1.4パーセント減の12,056件（1箇月単位のカウントだと29,422件、以下「月単位」という。）、派遣の受託件数は前年度比約2.1倍増の76件（月単位584件）で、合計で前年度比1.0パーセント減の12,132件（月単位30,006件）となりました。（職群別及び発注者別の契約金額及び契約件数は、13ページ参照）

一方、会員数は、男性会員3,278人、女性会員1,862人の合計5,140人で、前年度より84人（1.6パーセント）減少しました。

なお、会員の男女比率は64対36、平均年齢は71.6歳、会員の粗入会率は1.1パーセントとなりました。

また、会員の就業状況につきまして、請負・委任の就業延人員は前年度比3.5パーセント減の352,089人となりましたが、請負・委任の就業実人員は3,818人で、前年度より27人（0.7パーセント）増加し、請負・委任の会員の就業率は74.3パーセントで、前年度より1.7パーセント上回りました。

2 事業報告

(1) 受託事業

臨時的かつ短期的な請負・委任による就業又はその他の軽易な業務に係る請負・委任の就業に係る事業では、平成26年度から配分金見積基準最低単価及び事務費を改定しました。

受託金額の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
請負・委任受注額 (百万円)	1,506	1,538	1,541	1,493

(2) 独自事業等の推進

就業機会の拡大、自主財源の確保及び地域貢献を果たすことができる事業の推進及び新規事業等の検討に努めました。

(3) 職業紹介事業

平成26年度から、臨時的かつ短期的な雇用の紹介又はその他の軽易な業務に係る雇用の紹介は、有料で実施しています。

有料職業紹介の状況 (平成26年4月～平成27年3月)

企業からの求人件数	企業への紹介件数	企業へ就職した件数
3	3	3

(4) 一般労働者派遣事業

臨時的かつ短期的な派遣又はその他の軽易な業務に係る派遣は、請負・委任による就業からの切替等により、大幅に増加しました。

派遣の状況 (平成26年4月～平成27年3月)

件数	就業実人員
76件	131人

(5) 講習会の開催

講習会の実施状況 (平成26年4月～平成27年3月)

講習会名	内 容	実施日	講習延 日数(日)	受講数 (人)
福祉・家事援助 初 級 研 修	・会員としての心構え ・仕事の留意点	2・4木曜	18	65
筆 耕 講 習	・宛名書き ・賞状書き	4/10・24,5/8・22 6/12・26,7/10・24 8/14・28,9/11・25 10/9・23,11/11・27 12/11,1/8・22 2/12・26,3/12・26	23	190
除 草 講 習	・除草技術の習得及び事故防止	5/27	1	23
保育補助員講習	・保育の基礎知識 ・保育施設実習	6/2～13	10	140
		9/22～10/6	10	130
駐輪等施設管理 スタッフ講習	・管理業務の基礎知識 ・接客マナー	6/16～27	10	200
福祉・家事援助 健 康 講 座	・“ロコモティブシンドローム”を予 防するために	6/18・20	4	109
調理業務補助 スタッフ講習	・施設による調理方法 ・衛生管理	6/30～7/11	10	150
家事援助補助 スタッフ講習	・掃除,洗濯の実践法 ・個人情報取扱について	7/7～18	10	110
小売販売補助 スタッフ講習	・小売販売の基礎 ・接客対応マナー	7/14～28	10	110
京都観光補助 スタッフ講習	・観光ガイド基礎概論 ・ガイド実践研修	7/22～8/7	10	170
印刷物毛筆筆耕 講習	・楷書体の書き方 ・宛名書のレイアウト	8/18～29	10	210
介護等施設補助 スタッフ講習	・介護に関する基礎知識 ・介護補助業務とは	9/1～12	10	140
		11/26～12/4	10	100
駐輪等施設管理 スタッフ講習	・駐輪場管理業務の基礎知識 ・接客マナー	9/8～22	10	130
市民後見スタッフ 講習	・市民後見制度とは ・関係法令研修	9/16～30	10	160
		11/6～19	10	140
ベビーシッター 講習	・子供の発達と病気,怪我について ・保育の基礎	9/29～10/10	10	130
福祉・家事援助 料 理 講 習	・乾物が主役☆美活レシピ	10/7・9・10・28・30	5	120
施設清掃スタッフ 講習	・建物別清掃方法について ・薬品及び道具の使い方	10/7～21	10	160

介護事務処理講習	・介護保険について ・介護事務ソフトについて	10/14～27	10	140
京都観光補助 スタッフ講習	・観光ガイド基礎概論 ・ガイド実践研修	10/22～11/5	10	150
受付等スタッフ 講習	・電話、受付対応の基本 ・クレーム対応について	10/28～11/11	10	210
実用事務パソコン 講習	・事務文書作成の基本技能 ・ワード、エクセルの活用	11/12～26	10	210
福祉・家事援助 中級研修	・家事援助に伴う情報の取扱	11/18・20	4	136
緑化管理スタッフ 講習	・剪定の基礎知識、技能 ・庭管理、除草の知識、技能	11/25～12/8	10	150
経理事務スタッフ 講習	・簿記の基礎知識 ・経理ソフトの実践技能	11/27～12/10	10	150
ホテル業務スタッ フ講習	・フロント業務の基礎知識 ・現場実践体験	12/5～18	10	70
観光案内業務講習	・ガイド業務基礎概論 ・各観光地のポイント	1/26～2/19	15	175
		3/2～6	5	80
子育て支援講習	・保育の基礎講座 ・子どもの発達や病気・怪我の対応	2/12～24	8	96
子育てチーム講習	・グループ就業のあり方	2/25～27	3	48

(6) ボランティア活動等の推進

各地区で清掃ボランティアを実施する一方、祇園祭の宵山及び宵々山で毎年実施しているエコボランティアを平成26年度も実施しました。

(7) 就業体験等の実施

講習会で就業を体験する機会を設け、受講者に提供しました。

(8) 普及啓発活動の推進

ア イベント等での取組

「区民ふれあいまつり」等の会場並びに各地区で、会員がPRチラシ等を配布しました。

イ 会員の日常的取組

職群（福祉・家事援助サービス）班所属会員が、1人あたり1回3枚のビラを近隣、知人に配布しました。

ウ 関係機関等での取組

当センターのPRパンフレット等を配置する団体の拡大に努めました。

エ マスコミ媒体の利用

4月にKBSラジオで、シルバー人材センターの情報発信を行いました。

オ インターネットの利用

インターネット上のホームページを通じ、シルバー人材センターの事業理念、目的及び仕組など各種情報の提供を行っています。

(9) 就業開拓活動及び受注対応体制の強化

ア 関係機関を通じた開拓

京都市をはじめとする公共機関に対し、新規発注及び市民への利用勧奨の要請を行いました。

イ 就業開拓員による開拓

平成26年4月から会員の就業開拓員を倍増する一方、就業開拓専従の職員を配置するなど、大幅に人員体制を強化した上で、民間企業、各種団体及び事業所等へ直接訪問して就業開拓活動を行いました。

ウ 会員による開拓

地域班及び職群班会員によるチラシ配布等の活動並びに一般会員による折に触れてのPR活動等を行いました。

エ マスコミ媒体の活用

関係団体が刊行する新聞への広告掲載及び地方新聞へのチラシの折込を実施しました。

オ 発注者へのフォロー

就業開拓員が発注先を直接訪問して、発注者の意向等を確認しながら、就業の継続及び拡大に努めました。

カ 発注者へのフォロー

事務局のみならず、地域班及び職群班も一体となって、会員の就業意向及び現況の把握に努めることにより、受注があったときに迅速かつ適切に就業提供できる体制の構築に努めました。

(10) 相談及び情報提供

就業、講習及びボランティア活動等に係る高齢者からの相談に応じ、情報提供を行いました。

(11) 安全・適正就業対策の強化

ア 安全就業の取組

各職群班での会議及び研修会等で就業会員の安全就業意識の向上を図る一方、就業会員にヘルメット等の安全防具の貸出を行うなど、事故の未然防止に努めました。

イ 安全意識の向上

平成26年9月24日、中京警察署の協力により、二条自動車教習所で自転車安全講習を実施し、会員の交通安全意識の向上に努めました。

ウ 適正就業の推進

会員就業基準を基に就業会員の交代を実施するなど、長期同一就業の解消及び未就業会員への就業提供に努めました。

エ 就業形態適正化の推進

法令に則った就業の実施のため、就業形態の見直し等を推進しました。

オ 会員の事故発生状況（平成26年4月～平成27年3月）

区分	人的事故		物的事故	
	件数	主な事故内容	件数	主な事故内容
就業中	13	<ul style="list-style-type: none">・階段で足を滑らせ転落，足を打撲・ノコギリの刃が当たり，指を切傷・ロープに足を引っ掛け転倒，捻挫・脚立から落下，骨折	25	<ul style="list-style-type: none">・草刈機で小石を飛ばしてガラスを破損・ガラスの扉を強く開きすぎて破損・置物を落下させて破損・箒の柄を門燈に当て，ガラスを破損
就業途上	2	<ul style="list-style-type: none">・自転車で自動車に接触され転倒，骨折・バイクでバイクと接触し転倒，腕を骨折		

(12) 調査研究

法・制度の変更に適確な対応をし、事業の一層の効率的運営を図るため、行政機関及び政令指定都市をはじめとする各シルバー人材センターとの情報交換を行うなど、調査研究に努めました。

視察実績（平成26年4月～平成27年3月）

来所月日	来所団体	来所
平成26年 11月28日	公益社団法人名古屋市シルバー人材センター	本部

(13) 定期総会、理事会及び専門委員会の充実・強化

多数の会員の参加による充実した総会の実現のため、平成26年度定期総会は市内各所からのアクセスが良好な京都駅ビル内の京都劇場で開催しました。（総会、理事会及び専門委員会の開催状況は、14ページから16ページまで参照）

(14) 会員の増強

入会希望者に対する入会説明会は、毎週金曜日の午前10時から約2時間、本部、東部支部及び北部支部の3箇所で開催しています。平成26年度の入会説明会参加者数は1,495人で、前年度より4.2パーセント下回りました。入会説明会の1回あたり平均参加者は29.3人で、本部11.9人、東部支部11.1人、北部支部6.3人でした。

入会説明会では、シルバー人材センターの基本理念をはじめ、仕組、事業内容及び現状等を説明し、参加者にシルバー人材センターの正しい理解と認識をしていただいて入会していただくよう努めています。

なお、入会者数は786人で、前年度より4.1パーセント下回りました。（会員数の推移は、11ページ参照）

(15) 会員組織の充実・強化

ア 地域班の強化、活性化

地域班では、「シルバーだより」の配布、地区総会及び地区長会等の会議の開催などの地域班活動に加え、各区の区民まつり及び各種イベントでのPRビラの配布などの普及啓発活動に積極的に取り組みました。

また、平成26年度から新たに新入会員を対象とした「地域班新入会員研修」を実施するなど、活動の一層の強化及び活性化に努めました。

(7) 各地区会議開催状況 (平成26年4月～平成27年3月)

本部		東部支部		北部支部	
地区	回数	地区	回数	地区	回数
中京区	10回	東山区	8回	北区	7回
下京区	8回	山科区A	8回	上京区	6回
南区	9回	山科区B	9回	左京区A	8回
右京区A	7回	伏見区A	2回	左京区B	9回
右京区B	11回	伏見区B	2回		
右京区C	6回	伏見区C	9回		
西京区A	10回				
西京区B	9回				

(イ) 全体会議開催状況 (平成26年4月～平成27年3月)

開催年月日	会議名	内容
平成26年 4月25日	委嘱状伝達式 地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状伝達 ・平成26年度の地域班活動について ・新入会員研修の実施について
5月16日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・定期総会について ・新入会員研修の実施内容について ・生きがい対策の取組について
7月18日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・新入会員研修の実施報告と今後の取組について ・各区民まつりの対応について ・生きがい対策の取組について
9月26日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ふれあいステージでの取組について ・全市一斉街頭啓発の実施について ・下半期の地域班活動について
11月21日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかフェアでの取組について ・生きがい対策の取組について ・新入会員研修の実施内容等の検討について
平成27年 1月16日	地区長会	<ul style="list-style-type: none"> ・地区総会の実施について ・各区民イベントの総括と次年度の取組について ・生きがい対策の取組について

イ 職群班の組織化、活性化

各職群班では、技術講習や会議などの職群班活動に努めました。

職群班会議開催状況（平成26年4月～平成27年3月）

職 群 班 名	会 議 名	実 施 日
福祉・家事援助 サービス班 (K S R)	総会	4 / 6
	ブロック長研修	4 / 24, 12 / 18
	運営部会議	4/17,5/23,6/17,7/22,8/20,9/18 10/17,11/17,1/21,2/18,3/5
	ブロック長会議	4/24,5/28,6/24,7/29,8/27,9/25 10/24,11/25,1/27,2/25,3/19
子育て支援	運営委員会	4/18,5/19,6/19,7/18,8/19,9/19 10/16,11/19,12/19,1/19,2/19,3/19
	全体会議	4/1,4/28,5/28,6/24,7/28,8/22,9/22 10/28,11/26,12/25,1/23,2/23,3/24

(16) 事務局体制の充実・強化

ア 職員の資質向上

全国シルバー人材センター事業協会及び京都府シルバー人材センター連合会等の会議，研修会及び講習会に積極的に参加し，職員の資質の向上に努めました。

イ 事務の効率化の推進

事務の効率化の推進のため，事務機器等の入替を行いました。

ウ 継続性の確保

事務局の継続性を確保して効率的な事業運営を行うため，臨時職員の新規採用を行いました。

エ 会員の活用

就業開拓及び地域班等に係る業務の一部を会員に委託しています。

(17) 施設の充実・拡充

北部支部事務所及び二条城事務所の補修を行いました。

(18) 財政基盤の安定・強化

平成26年度から請負・委任就業分の事務費を7パーセントから8パーセントに改定したことに加え、有料職業紹介事業を実施して収入の確保を図る一方、引き続き、事業経費及び事務局経費の縮減に努め、さらに、未収金の回収を強化しました。